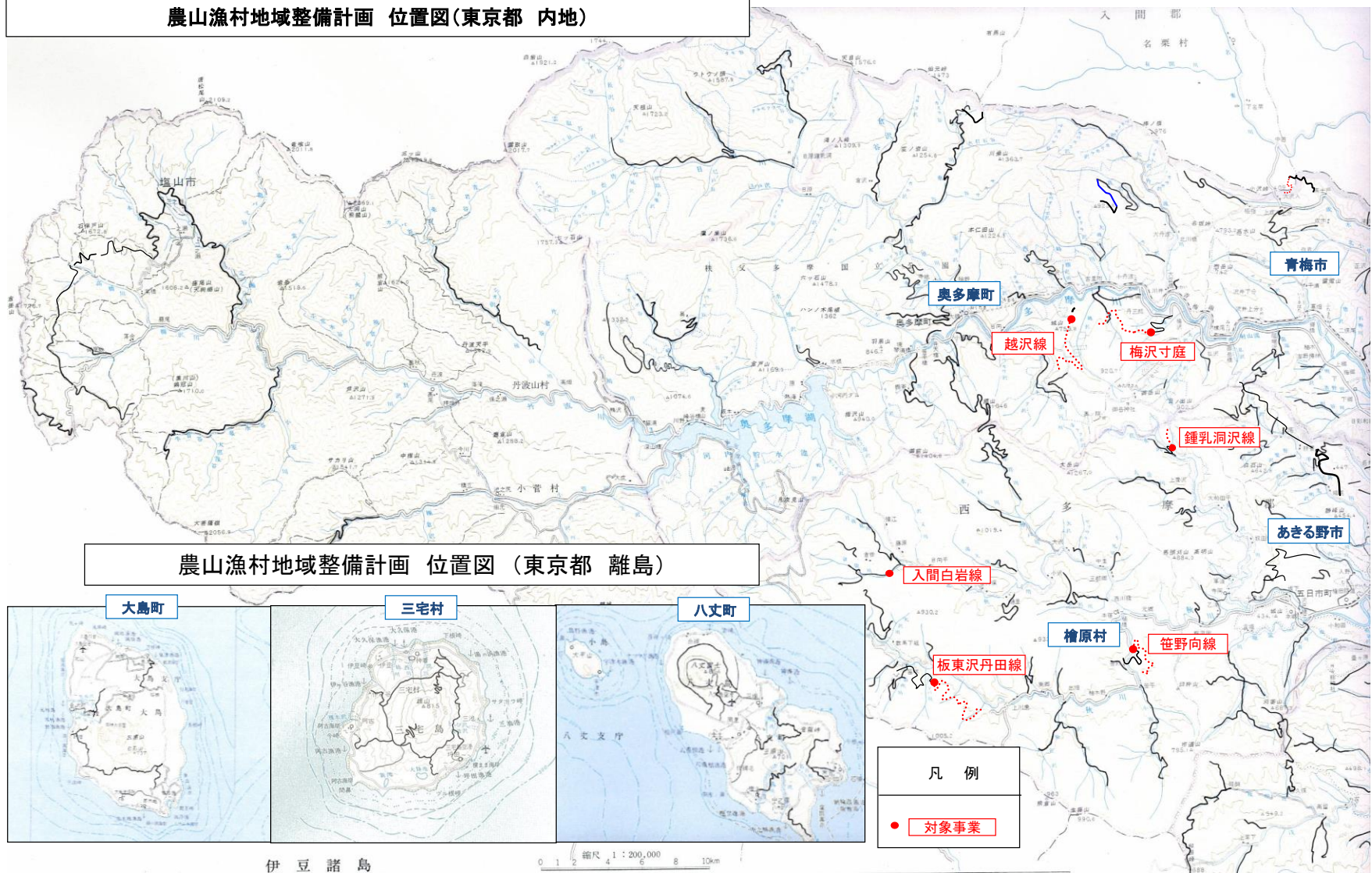


農山漁村地域整備計画

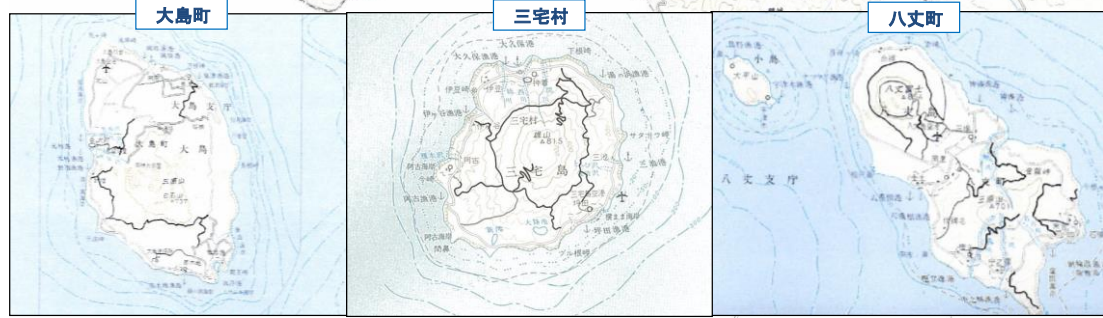
H30年 2月16日

計画の名称 東京都森林基盤整備事業計画(林道)									
計画策定主体 東京都									
対象市町村 あきる野市、青梅市、奥多摩町、檜原村（4市町村）									
計画の期間 平成27年～31年（5年間）									
計画の目標 地球温暖化防止に貢献する森林資源の循環利用、災害防止・空気浄化等公益的機能の高度発揮に対する都民の要求は強い。東京都もそれらを重点課題として位置づけ様々な事業を展開している。 林業の高コスト構造を改善するため路網を整備し、施業の集約化に重点的に取り組み多摩産材利用拡大事業等の加速化を図ることによって、循環再生型の森林を創造すると共に、計画的な森林の整備を行うことにより森林の水源かん養や土砂災害の防止、二酸化炭素の吸収等公益的機能の高度発揮を促す。									
定量的指標 路網の整備を推進することにより、13,500m ³ /年（H25年度多摩産材）の生産量を15,000m ³ /年まで増産させる。									
対象事業									
単位：									
事業名	事業型	事業箇所名 (地区名)	事業実施主体	関係市町村	計画期間内の 事業内容 (工種及び数量)	工期	計画期間内の 総事業費	費用対効果	備考
森林整備事業	育成林整備事業	東京都内（林道梅沢寸庭線）	東京都	奥多摩町	開設 (1,500m)	H27~H31	290,000		H28以前着手
森林整備事業	育成林整備事業	東京都内（林道越沢線）	東京都	奥多摩町	開設 (1,600m)	H27~H31	375,000		H28以前着手
森林整備事業	育成林整備事業	東京都内（林道板東沢丹田線）	東京都	檜原村	開設 (1,200m)	H27~H31	394,000		H28以前着手
森林整備事業	育成林整備事業	東京都内（林道笹野向線）	檜原村	檜原村	開設 (700m)	H27~H31	180,000		H28以前着手
森林整備事業	育成林整備事業	東京都内（林道鍾乳洞沢線）	あきる野市	あきる野市	開設 (1,200m)	H27~H30	113,700		H28以前着手
森林整備事業	林道改良事業	東京都内（人間白岩線）	東京都	檜原村	改良 (1,200m)	H27~H30	90,000		H28以前着手
森林整備事業	林道点検診断・ 保全整備事業	東京都内（奥多摩町管内）	奥多摩町	奥多摩町	林道点検診断 (11箇所)	H30	5,600	—	
森林整備事業	林道点検診断・ 保全整備事業	東京都内（青梅市管内）	青梅市	青梅市	林道点検診断 (66箇所)	H30	17,000	—	
森林整備事業	林道点検診断・ 保全整備事業	東京都内（檜原村管内）	檜原村	檜原村	林道点検診断 (18箇所)	H30	9,500	—	
合計 (全体事業費)							1,474,800		

農山漁村地域整備計画 位置図(東京都 内地)



農山漁村地域整備計画 位置図 (東京都 離島)



伊豆諸島

縮尺 1 : 200,000
0 1 2 4 6 8 10km

凡例

● 対象事業

東京都森林基盤整備事業(林道)事前評価

目標の妥当性

<目 標> 多摩産材の利用拡大による循環再生型森林の創造。

<計画の概要> 路網を整備することにより、間伐材利用促進事業、花粉対策事業、森林再生事業等の造林事業の加速化を図るとともに、森林所有者の自発的な森林の整備を促し、林業への意欲の向上などにより目標を達成する。

整備計画の効果・効率性

間伐材利用促進事業、花粉対策事業、森林再生事業等の造林事業の加速化を図ることによって、利用間伐量、主伐量、林種転換量を増加させることによって、多摩産材の生産量を年間13,500m³(平成25年度)から15,000m³へ増加させるとともに循環再生型森林を創造する。
さらに、森林の水源かん養、土砂災害の防止、二酸化炭素の吸収等公益的機能の高度発揮を促す。

整備計画の実現可能性

路網整備事業については、市町村、地元自治会等からの要望に基づき全体計画を樹立し、造林に係る事業については、森林経営計画を基本とし、市町村、森林組合、森林所有者等からの要望数量を積み上げ計画しており、計画は実現可能である。